

冬休みまであと少し、4月から12月まであっという間でしたね。楽しい冬休みを過ごし、新しい年を迎えるために、感染症予防を心がけましょう。大事なことは手洗い・うがい・換気です。まずは、帰宅したら手を洗う習慣を身に付けましょう。



冬に流行しやすい 感染症

インフルエンザ



特徴

通常の風邪と比べて、急激に強い症状が現れる。

潜伏期間

1～3日

症状

38度以上の高熱、頭痛、関節痛、咳、鼻水、倦怠感、悪寒 など

ノロウイルス



特徴

感染力が非常に強く、感染者の排泄物やおう吐物などからも感染する。

潜伏期間

1～2日

症状

吐き気、おう吐、下痢、腹痛、軽度の発熱 など

新型コロナウイルス



特徴

風邪のような軽い症状から、強い発熱や呼吸器症状まで幅広い。

潜伏期間

2～4日程度

症状

咳、のどの痛み、37.5度以上の発熱、倦怠感、味覚障害 など

ウイルスに好き嫌いをインタビュー

好きなものは？

オレさまたちウイルスは、かわいた空気がだ～いすき！ だって、空気の中をふわふわ飛びやすいんだ。しかも、人間ののどや鼻の中がかわいてカサカサになったら、オレさまたちを追い出す線毛の働きも弱まる。だから体の中に入っていきやすくなるんだぜ。冬はオレさまたちの大チャンスってわけさ！

嫌いなものは？

実はな、オレさまたち、湿った空気が苦手なんだ。湿気があると空気の中を飛びづらいし、人間ののどや鼻の中がうるおって、線毛につかまって体の外に出されちゃうんだ。だから加湿器とか、水を飲むとか…そんなことされると困っちゃうんだ。オレさまたちが体に入る前に洗い流しちゃって手洗い・うがいも苦手だな。くう～、これ以上は言わせなよな！



12月2日、1年生が薬物乱用防止教室を行いました。薬物乱用とはなにか、薬の正しい使用方法について、学校薬剤師の田中聖仁先生から教えていただき、飲み物と薬の組み合わせによる作用を、実験を交えながら学びました。

生徒たちは「サプリメントなどでも薬物乱用になることがあると知りました。家族がよく飲んでいて気を付けてねと教えます」「今回の実験で薬と緑茶を合わせると真っ黒になって、ジュースで飲んでも少し味が変わるだけだと思っていたけど見た目にも効果にも変化があり驚きました。これからは水で飲むように気を付けたいです」「薬によって飲む回数が違うのは、薬が体で作用する時間が関係していることが分かりました」などと振り返り、薬の使用について学びを深めることができました。ぜひ、家庭で薬物乱用防止教室で学んだことを話題にしてみてください。

